



坂井輪小・小新中学校区 まちづくり協議会

当協議会は、坂井輪小・小新中を単位とし、32自治会、5,889世帯、8部会で活動を行っています。

私は就任以来、自助共助の考え方とこれを進めていくと共に明るい挨拶を交わせるまちづくりに注力しています。その上で、当協議会の活動は春には西川の桜堤を巡るてくてくウォーキング、町内通学路の点検、一斉清掃、そしてもちつき大会などを行っています。

そしてまちづくりセンターの開所により、高齢者向けのお茶の間「らっくろ」、短歌入門教室など地域の方々のサークル活動や、会議等多様な用途に活用されています。

(会長 下川 照雄)

知っとなつた 街のタネ

ここに「木場城」があったてや!!

今から約440年前の西区木場の地に、戦国武将の上杉景勝が新発田重家を討伐するために本丸と二の丸からなる木場城を築城しました。

木場周辺には大小無数の潟や沼が散在していたため、城までは迷路のようで敵方からは攻撃しづらい城であったと言えます。

討伐後の木場城は、城の特徴を活かして新潟の三ヶ津である蒲原津と沼垂津と新潟津を監視支配する番城として使われました。

しかし、上杉景勝は豊臣秀吉の命により会津に移封、国替えさせられたため木場城は18年の歴史を閉じて廃城となります。

当時無数に存在していた潟や沼は、いまではすっかりと消えて見事な美田となっています。

新潟市文化財センター(木場)を出て道路右を進んでいくとまもなくのところに、往時を偲んで「此附近 木場城址 推定地」の木柱が設置されています。



郷土史家・青木宏氏が描いた木場城想像図 (出典：越後木場城)

編集後記

編集に関わるようになって一年余りになり、限られたスペースの中で色々な記事を掲載することの難しさを改めて感じているところです。今回の広報十九号は、編集の内容が少し変化したのではと思っております。又の機会を希望するところです。(二重止曲)

募集 しています

広報紙や自治協議会活動についての意見

◆送付先/住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙1面の「事務局」あてに郵送または電子メールにてお願いします。

◆あなたの「自慢の写真」(家族・ペット・風景・イベント等)に住所・氏名(氏名は必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)・連絡先・写真タイトル・一言コメントを添えてご応募ください。(電子メール可) ◆採用者には千円の図書カードを贈呈。 ◆応募された写真は返却しません。

◆締め切り11月末日(次号掲載予定)。 ◆送付先/広報紙1面の「事務局」あて。



※イメージは2016版カレンダーのもので

2017年版 西区特産物・ 観光地カレンダーの 配布をはじめます。

西区の魅力を紹介した2016年版のカレンダーが好評でしたので、2017年版も西区自治協議会で制作しました。掲載した写真は皆さまより公募し、より親しみを持っていただける内容となっております。

10月23日の第4回西区アートフェスティバル会場で配布します。また、10月31日以降は、区内市公共施設で配布しますので、ぜひお求めください。



タイトル 新潟のマチュピチュ?

一言コメント

西区浦山のマンションのベランダからの早朝の一枚です。10年余り住んで初めて見られた景色です。

氏名

有馬 里美



西区を豊かに

第19号

発行者 新潟市西区自治協議会

会長 岩脇 正之

事務局 〒950-2097

新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内

TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650

E-mail: chiiki.w@city.niigata.lg.jp



西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟スイカ、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽を乗せました。

西区アートフェスティバル

第4回

～区民の力、地域の宝～

「アートを通して西区民の一体感をつくりたい。アートを表現する団体に発表の場を提供したい」と始めて今回で4回目となりました。これまでは、音楽と芸能の分野で素晴らしい演奏やダンスなど多様な活動に観客の皆さんから「芸術性の高さを実感しました」などの感想を戴いています。今回は初めて「アート部門の展示」も企画します。西区にちなんだアート作品が展示されます。学術・文化豊かな西区のパワーを皆さんと一緒に体感ください。

秋の一日、お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

音楽・芸能部門

2016年10月23日(日)

開場 9:30 開演 10:00 終演 16:05

会場：黒埼市民会館

出演団体 (出演順)

- 笠木小学校 笠木樽砧
- 新通小学校 新通ジュニアウインドアンサンブル
- コーラスたまたま箱
- ハラウ プア アロアロ (フラダンス)
- 五十嵐中学校 箏曲部

アート展示部門

2016年10月22日(土)

12:00 ▶ 17:00

※屋外展示のみ
10月30日(日)
17:00迄

10月23日(日)

9:00 ▶ 16:05

- 新潟トルチェ・マンドリンアンサンブル
- 新潟楽所 (雅楽)
- 日本文理高校 吹奏楽部
- 新潟国際情報大学 合唱部
- ルヴォワール

主催：新潟市西区自治協議会

後援：新潟市教育委員会



パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！
Web版西区を豊かに (西区役所ホームページ内)



図書館には宝がいっぱい

西区自治協議会第2部会（保健福祉・文化・教育等に関する分野担当）では、「公民館」「図書館」「介護」「民生委員制度」などの地域課題について検討・学習しています。若者の活字離れ、図書館離れが指摘される中、区民のみなさんになじみ深い西区の図書館のサービスについてもっと多くの方に知っていただきたくて記事にしました。これを機に、改めて一緒に図書館の宝探しをしてみませんか。

本が「借りられる」のは図書館の最大の魅力！

図書館では1人、1回に10冊まで、2週間借りられます。（予約も可能）絵本などは子どもの興味が次々変わるので、全部買っていたらお財布が大変。子どもが繰り返し読むお気に入りの本に出会ったらそれだけ購入と助かっています。また、坂井輪図書館では視聴覚資料（CDやDVDなど）も2点まで2週間借りられるそうです。

視聴覚資料視聴ブース

坂井輪図書館では、館内でCDやDVDを視聴できるコーナーを見つけました。図書館が改築されたときに新設されたそうです。



ネットも使えます！

無線LANやインターネットの利用にも対応。素晴らしいですね。



資料探しを手伝ってもらえます！

資料を探すことって結構大変。でもカウンターで図書館司書さんに相談すると、うろ覚えの資料名でもしっかり探してもらえました。「柿がたくさんあるけれど、何か活用法は？」こんな問いにも応えていただきました。自治協議会で講演講師の推薦に当たって、講師の著書を集めて紹介・貸し出ししてもらおうなどと協力してもらった機会もありました。

便利な返却方法！

黒崎図書館で借りた本をオンライン図書館同士などで返してもOK。つまり黒崎図書館で借りた本を買い物ついでに内野図書館で返しても良いということ。また閉館時でも返却ポストや返却ボックスに返すことができる。…年中24時間対応だから便利。ただし、CDやDVDは壊れ易いのでカウンターへ返すことになっているそうです。



子ども向けの時間「赤ちゃんタイム」

読み聞かせを楽しんでいる親子の姿がありました。曜日・時間はそれぞれの図書館で異なりますが「赤ちゃんタイム」を設定しているそうです。この時間は、周りに少し話し声が聞こえるでしょうが、温かく見守っていただきたいとのことでした。



「お取り寄せ」もしてもらえます！

訪れた図書館にない資料や本でも、相談すれば市内のほかの図書館はもちろんのこと、県内外の図書館や新潟大学の図書館、国会図書館へも問い合わせ・取り寄せをしてもらえます。

地域に愛される図書館をめざして
図書館は新しい取り組みを行っています
(坂井輪図書館長)

中心図書館である坂井輪図書館長さんから寄稿していただきました。

平成26年8月にリニューアルオープンした坂井輪図書館。面積は3倍になり利用しやすくなりました。

図書館なんて必要ないという方は多いと思います。本は買えばいいし、インターネットを使えばいろいろなことがわかります。でも、図書館は「誰でも無料で」利用できる施設として、当たり前のように存在しています。そして、必要な情報を探し出す手助けをするのが、図書館司書という専門職員。この調べ物のプロに相談すれば、情報の洪水の

中から、自分に有用な情報を見つけ出すことができます。このような便利な図書館を知っていただきたいという思いから、西区の図書館司書は、自治協主催の講演会等に「おでかけ図書館」として出かけたり、お店や塾などに図書館の本を置いて、その本を介してコミュニケーションが広がるようなモデル事業を進めています。西区の図書館は、地域の生活課題を解決するお手伝いをしたいと考えています。その課題が何なのか、自治協委員の皆さんの声からヒントをいただいているのです。

平成28年度 西区教育ミーティング

- 6月24日、第1回西区教育ミーティングを（「平成28年度教育委員会の施策について」というテーマで）開催しました。教育ミーティングとは、区の特長や地域の実情を把握し、教育施策に反映できる体制づくりを目指し、区担当委員と自治協委員との意見交換・懇談の場です。自治協委員から現在、小学校の体育館などを利用して行われている地域で子どもを見守る「ふれあいスクール事業」や地域と公民館などと学校の連携で行われている「パートナーシップ事業」について活動紹介がありました。活発に活動が行われている一方で、ボランティアの人材確保が難しい現状が見えてきました。解決方法の一つとして、公民館のサークル活動のメンバーに声掛けして講師として学校に来てもらい、サークル

の方々にも大変好評だったとの報告がありました。今後の取り組みとしての意見交換では、
・挨拶など、小さなことから教えることが地域全体で子どもたちを育てていくことにつながるのではないかと
・学習支援や食育など、子どもたちの居場所づくり事業の拡大を希望する。
・いのちの授業などで乳幼児とふれあう機会をつくってはどうか？
など、自治協委員から多くの意見が出されました。

第2回西区教育ミーティングを開催します。
日時：平成28年11月24日（木） 13:15～14:45（予定）
会場：西区役所健康センター棟 1階
※どなたでも会議の傍聴ができます（予約不要）。

9/11 鎌田 實 講演会を開催しました

たくさんのご参加をいただきありがとうございました

「地域で命を支える」～地域包括ケア・健康・絆を考える～

- 西区自治協議会の第2部会が「高齢化をテーマにした講演会」を企画・提案・実施し3回目となります。講演会が、より多くのみなさんの生活にお役に立てるように企画してきました。
- 1回目は「在宅死」、2回目は「認知症予防」というテーマでした。どの回もみなさんの関心の高さを感じました。そして多くのご参加をいただきました。
- そして3回目となる今回は「地域で命を支える」でした。より身近なテーマである「地域」というキーワードで講演会を企画しました。
- 講演会について、詳しくは次号でご報告いたします。

